

## セーブ・ザ・CHILDREN まなび・体験ファンド第2回 募集および採択の状況

### まなび・体験ファンドとは

子ども期に、学習に限定されない幅広い「まなび」や豊かな体験活動を経験することは、子どもの主体性や社会性を高めたり、心身を育んだり、自己肯定感を培う上で重要です。しかし今、感染症、災害、物価高騰、相対的貧困の拡大などの影響もあり、子どもが日常から離れた場で未知の体験をしたり、さまざまな大人や友だちと触れ合い、多様な人間関係を持ったりする機会が減っています。特に、経済的に困難な世帯などにおいてはその傾向が際立っており、「体験格差」が顕著な状況が続いています。

このような状況を踏まえ、セーブ・ザ・CHILDRENは、子どもに向けてまなび・体験の機会を提供する地域の非営利団体を応援する「セーブ・ザ・CHILDREN まなび・体験ファンド」を実施しています。本ファンドを通じて、子どもたちが夏休みの期間に遊びや活動、新しいもの、未知のものに触れたり、まなんだりする機会をより多く実現し、子どもの育ち、まなび、遊び、参加などの基本的な権利が守られることを目指しています。

### ファンド概要

日本国内の子どもたちに向けてまなび・体験の機会づくりに取り組んでいる地域の非営利団体を対象に、事業実施のための資金助成と、団体の活動において関係者による虐待や搾取など、子どもの権利に反する行為や危険を防止し、子どもにとって安心・安全な活動を進めるための「子どものセーフガーディング研修<sup>1</sup>」を行います。

### 対象となる事業

子どもが遊び・活動や、新しいもの・未知のものに触れたり、まなんだりすることで、子どもの権利保障が期待される事業を募集します。ここでの「まなび・体験」は、広い意味で使っており、「学習」の場に限定しません。その中でも特に、子どもが保護者の経済状況、障害の有無、言語的障壁などによって参加の可能性を阻まれることなく、平等にまなび・体験の機会を得られる企画となっていることを重視します。

### 第2回の実績

- 助成事業の実施期間： 2024年7月1日～10月31日
- 助成対象団体： 特定非営利活動法人（NPO 法人、認証・認定）、一般法人（非営利型）、公益法人、社会福祉法人、任意団体などの非営利団体

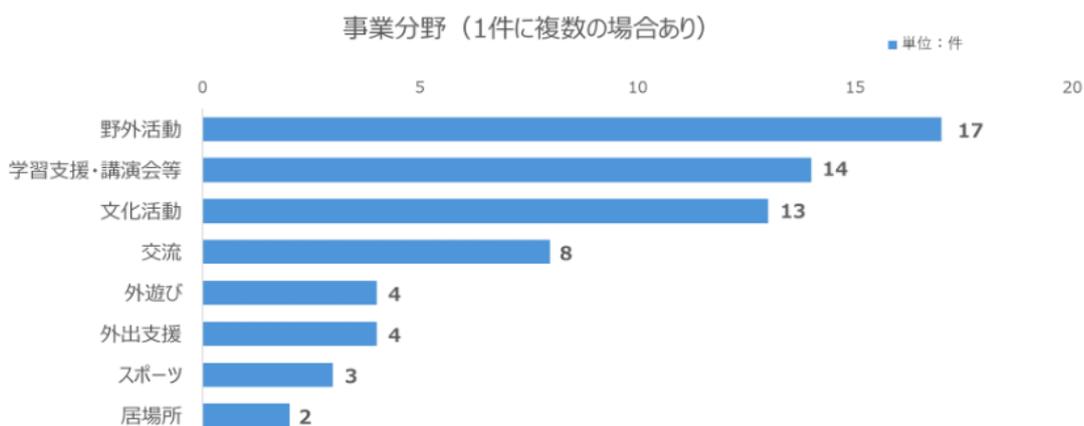
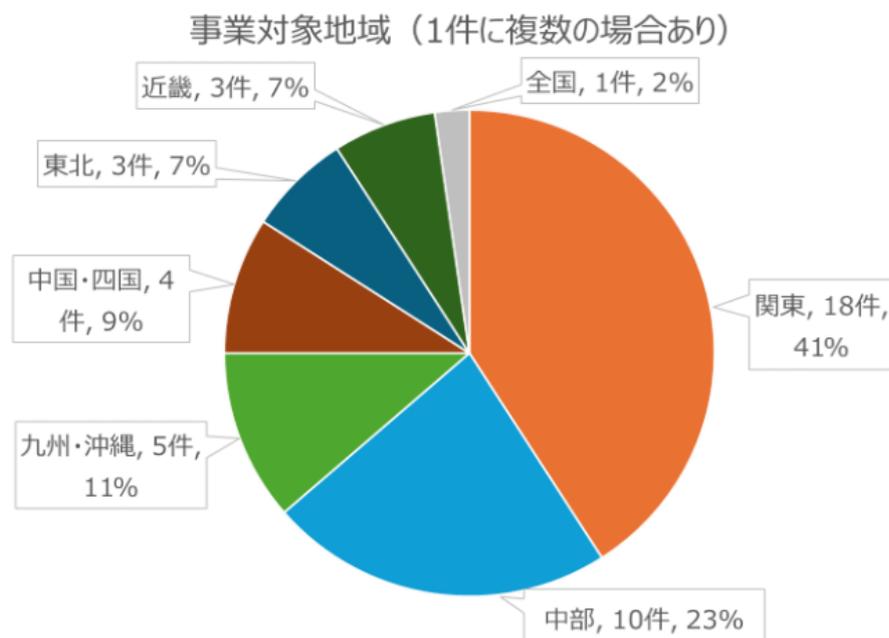
<sup>1</sup> [質の高い組織と事業づくり「子どものセーフガーディング」 | セーブ・ザ・CHILDREN・ジャパンについて | セーブ・ザ・CHILDRENとは | セーブ・ザ・CHILDREN・ジャパン \(https://www.savechildren.or.jp/about\\_sc/quality1.html\)](https://www.savechildren.or.jp/about_sc/quality1.html)

- 助成金額：1 団体 50 万円～150 万円
- 選考過程：5 月にセーブ・ザ・チルドレン内部の審査員による書類審査および審査会を行いました。
- 採択団体：5 団体（ABC/五十音順）※事業概要、採択理由などについては文末の表をご参照ください。
  - NPO 法人 CPAO
  - 特定非営利活動法人 TEAM 創心
  - NPO 法人 オルフルド
  - フェローオーケストラ
  - 特定非営利活動法人 フリーキッズ・ヴィレッジ

## 第 2 回申請案件全体の傾向

2024 年 3 月 4 日～4 月 15 日の申請期間に、全国から 42 件の申請がありました。事業分野別に見ると、自然・野外体験の申請が多く、次いで学習支援や講演会、文化活動と続きました。そのほか、外遊びや外出支援、スポーツなどの申請もありました。

今回は特に、子どもが保護者の経済状況、障害の有無、言語的障壁などによって参加の可能性を阻まれることなく、平等にまなび・体験の機会を得られる事業となっていることを重視しました。申請ではひとり親世帯、多胎児世帯、保護者の心身が不安定な家庭、疾病や障害のある子ども、およびそのきょうだい、外国にルーツがある、社会的養護下にある、不登校である、被災地（能登半島、福島県）、離島在住などさまざまな状況の子どもを対象とした計画が寄せられました。一方、こうした子どもたちをめぐる課題の捉え方や説明の詳細さ、課題への対応策の具体性については、申請団体によって差が見られました。



## 審査講評

今回も、子どものまなび・体験を保障しようとする意欲的な申請を全国から多く寄せていただいたことに御礼を申し上げます。近年認知が高まっている「体験格差」の課題に対して、地域に根差して、見過ごされがちな声に耳を傾け、それぞれの団体の強みを生かした事業計画が多く申請されたことは、大変心強い結果だと感じました。

審査においては、募集要項等で示した通り、いかなる状況下にある子どもたちも平等にまなび・体験の機会を得られることを最も重視しました。日頃の活動を通して、まなび・体験の機会が得にくい子どもや保護者の状況と課題を具体的に捉え、情報を確実に周知する工夫や、体験活動参加への心理的・経済的障壁を取り除く具体策が計画されている事業がより高く評価されました。

さらに、子どもを権利の主体ととらえ、子どもたちの意見を受け止め事業へ反映する計画がある事業も高く評価されました。一方で、大人から子どもへの働きかけに留まる事業などは採択に至りませんでした。

子ども参加を実現するためには、子どもの安心・安全を確保した上で、子どもの意見が事業に反映されていく環境づくりがあることが望まれます。これは子どもの権利保障を推進するセーブ・ザ・チルドレンが留意する点でもあり、今後この観点で十分に考えられた事業がより増えることを期待しています。

また、日頃の活動の場を離れてまなび・体験の事業を行おうとする際は、さまざまなリスクが伴います。安全確保に留まらず、関係者による虐待や搾取など、子どもの権利に反する行為や危険を防止し、安心・安全な活動と運営を目指す組織的取り組みを「子どものセーフガーディング」と言います。採択如何に関わらず、このファンドを通じて、より多くの団体がこの取り組みに触れ、活動の場に取り入れていただけることを願ってやみません。

助成先団体・事業 採択理由一覧 (ABC/五十音順)

事業名	能登半島地震で被災した子どもの遊ぶ権利を守りたい！ 子ども参加型プレーパークづくりプロジェクト
団体名	NPO 法人 CPAO
対象地域	石川県珠洲市
事業概要	大阪にて親子の支援を行う申請団体が、能登半島地震の被災地である石川県珠洲市で子どもの外遊びの機会を提供する事業。 子ども一人ひとりが尊重され、安心できる環境で主体的に遊びを楽しむ「プレーパーク」をつくることで、子どもの成長発達に欠かせない遊びやレクリエーションの権利を保障することを目指す。また子どもを安心・安全な環境で預かることによって保護者の負担を軽減したり、食事や遊びをともにしたりする中で子どもたちと地域の人々のつながりを醸成することも目的とする。
事業期間	2024年7月1日～10月31日
助成額	1,500,000円
選定ポイント	被災地の子どもの現状をよく把握した上で、子どもの育ちに不可欠な権利である遊びに着眼し、その実現に向けて子どもや保護者とともに活動していくことが、本ファンドで目指している機会の平等や子どもの権利に根差した活動づくりに合致している。 さらに、助成終了後、体制を地域に移行し事業の継続を図ることを視野に入れている点も高く評価された。

事業名	子どもたちの力を引き出す社会体験と地域交流事業
団体名	特定非営利活動法人 TEAM 創心
対象地域	三重県松阪市
事業概要	医療的ケアが必要な重度障害のある子どもへの支援事業を日常的に行っている団体が、介助者の同伴や外出先の環境把握など、外出のハードルの高さから体験の機会が限られがちな子どもたちやそのきょうだいを対象に、地域の祭り、スポーツなど多様な体験を提供する。個々の子どもの状況に合わせて表情や体の反応などからコミュニケーションを図り、保護者とも協力して本人の意思を活動に組み込んでいく。
事業期間	2024年7月1日～10月31日
助成額	1,301,000円
選定ポイント	重度障害のある子どもへの外出や体験の支援は、機会の平等を重視する視点からも非常に重要である。また重度障害のある子どもだけでなく、ともに暮らすきょうだいの体験不足にも着眼し対象としている点や、地域関係者と連携しながら体験を提供することでインクルーシブな地域社会を目指す視点も評価された。

事業名	なつやすみ宿泊体験 富士山こどもの国
団体名	NPO 法人 オルフルド
対象地域	静岡県富士市
事業概要	発達障害、知的障害、肢体不自由など何らかのハンディキャップのある子どもたちが、その特性の理解や配慮、支援を得ながら、専門スタッフのもとで安心して自然に触れ合う体験を継続して提供する事業である。新しい場面や活動への抵抗が強いという特性をもつ子どもも多いことから、昨年と同じ場所で活動する中で、周りの児童との交流など成長につながるきっかけも生むことを目指している。また、親元を離れての宿泊体験を通じて、自分でできることの習得への意欲や自信につながるよう支援することを目的としている。
事業期間	2024年7月13日～9月7日
助成額	775,910円
選定ポイント	十分な体験を得られにくい状況にあるさまざまな障害のある子どもたちに対して、安心・安全な環境下でまなび・体験の機会が継続的に提供されることは重要である。子どもたちの特性を踏まえ、敢えて昨年度の活動を繰り返すことにより子どもの成長や自立への機会を意図的に創出しようとしている点や、今後の継続的な活動実施のための検討が盛り込まれていることも評価する。

事業名	キッズコンサート2024
団体名	フェローオーケストラ
対象地域	神奈川県川崎市
事業概要	クラシックコンサートと演奏体験によって、子どもが自分自身への誇りや社会性を育む機会を届ける事業である。他団体との連携によって、経済的困難がある、外国にルーツがある、障害があるといった状況の子どもたちを対象にして演奏やコンサート鑑賞への参加を実現する。コンサート準備過程で子どもたちの意見を聴く計画があり、また当日も子どもが楽器に触れるなどさまざまな体験を提供できるよう計画している。
事業期間	2024年7月8日～10月6日
助成額	709,930円
選定ポイント	音楽という文化的な体験を多様な状況の子どもたちに届けるために、他団体と連携をしている点、また、これまでの連携実績に基づき多様な子どもたちの参加への配慮が具体的に準備されている点が評価された。また音楽を聴くだけでなく、子どもたちも奏者としてコンサートを作ることや、コンサート当日の体験活動も企画されている点も、豊かな体験機会提供の観点から優れていると捉えた。

事業名	居場所を必要とする子どもたちとその保護者を対象とした自然宿泊体験
団体名	特定非営利活動法人 フリーキッズ・ヴィレッジ
対象地域	長野県伊那市
事業概要	不登校の子ども居場所や里親支援、社会的養護の充実を目指して活動している団体による、不登校や引きこもり、社会的養護の子どもおよび保護者を対象とした、自然体験の機会を提供する企画である。子ども同士が交流やまなびを深めることにより、子どもの自己肯定感や自信の醸成を目指している。また、保護者に対しても悩みや不安を共有する場を設けることで、家族全体をサポートすることも目指している。
事業期間	2024年7月1日～10月31日
助成額	1,495,472円
選定ポイント	不登校や引きこもり、社会的養護やひとり親など、さまざまな環境下で育つ子どもたちを対象にしている点、かつ今までの活動経験からそのような子どもや保護者の状況を詳細に把握し、安心・安全なまなび・体験の機会を提供するための具体策がある点が高く評価された。 またキャンプなどの活動を一過性の体験に終わらせず、報告会や交流会によってその後の活動や関係性の発展につなげる仕組みもあり、子どもや保護者の変化に期待が持てる。

以上